

議 事 録

作成：事務局

教育長	部 長	課 長	課長補佐	主 幹	担 当	班 員
文書分類番号				保 存		
(大) 12	(中) 2	(小) 0	(細) 12	11 ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1		
会議名	令和5年度 第2回 合志市三つの木の家自主事業実行委員会議					
日 時	令和5年10月26日（木）15：00～16：00					
場 所	防災センター避難所2					
司 会	（事務局長）牧野 淳一					
出席者	（会長）中島 栄治 （副会長）岩男 竜彦 （委員）轟 幸雄・齋藤 恵子・水野 孝・平山 洋生・古賀 豊 園田 恭子・佐藤 政臣・佐藤 正貴 （事務局長）牧野 淳一 （課長補佐）大賀 盛博・（主査）野口 政浩 （事務局）中田 玖美・前田 純子 （中央公民館長）池田 一也 （社会教育指導員）高口 笑					
欠席者	（委員）正泉寺 秀人・堂原 紀美子・木村 春英 （事務局次長）合志 新一 （三つの木の家指導員兼管理人）村下 達哉・佐藤 実夫					
会 議 内 容						
1. 開会	司会…（事務局長）牧野 淳一					
2. 挨拶	（会長）中島 栄治 三つの木の家の事業がコロナ禍以前の状態に戻りつつある。来年どの ように事業を進めていくかということを考えていきたいと思ってい るため、ご意見をいただければと思う。					
3. 議題	議事進行…（会長）中島 栄治 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> （1）令和5年度事業経過について （会議資料P.2-10） </div> ・事務局より説明 会 長） 事務局から「こうし」子ども塾の申込者数が少ないという報告が あったが、どのように改善していきたいと考えているのか。 事 務 局） 募集期間の延長、LINEのフォームから申込みを可能にする、SNS を活用して申込を促す等の改善を行っていききたい。 会 長） 小中学校で完成したチラシのデータを子どもたちが持っている タブレットに配信していただくことは可能なのか。 実行委員） 可能である。 会 長） 学校の協力が可能であれば、タブレットに案内を出してはどう か。また、その旨保護者に声掛けして見てもらうようにすると良 いのではないか。 事 務 局） 紙媒体で周知するよりはそちらのほうが良いと思う。 会 長） 事務局で検討して欲しい。					

=====
実行委員) 私は、更生保護女性会に所属しており、今回の通学宿泊体験研修にボランティアとして参加した。以前は、子どもたちに手伝ってもらい、一緒に料理をしていたが、今回はボランティアだけで料理をするようお願いされた。それはなぜなのか。今後についてはどのようにお考えか。

事務局) バーベキューの準備の際に切り込みをしてもらい、おにぎりを作ってもらいなどはしてもらった。今回、レクレーション等、他の活動に重きを置くことを考えたときに、一緒に料理をもらうことは難しいと感じた。

事務局) 今後は、夕食作りを手伝ってもらうことも活動の中に取り入れていくようにしたい。

=====
実行委員) アイスブレイキングとは何か。

事務局) 初対面では心の壁があるため、一緒に活動して交流することで障壁を取り除くものである。

事務局) アイスブレイクとは、氷を解かすという意味があり、初対面の子どもたちがゲーム等、一緒に活動することを通して、仲を深めるという効果がある。その方法を、アイスブレイキングという。

会長) 最近の子どもたちは、指示を出して一緒に活動をしないと仲良くなりにくい面がある。今後も、適切に活動に取り入れていく必要がある。

事務局) 以前は放っておいても勝手に仲良くなっていたが、今の子どもたちは警戒心が強く、こちらが働きかけてあげなければ、集団に溶け込むことが難しい。

(2) 次年度以降の計画について (会議資料 P. 10-11)

・事務局より説明

実行委員) 通学宿泊体験研修については、時期を10月の秋休み期間中に持つてくるということか。学校では、その期間中、何もイベントを開催していなかったと思うが、どうか。

実行委員) 秋休み期間中はイベントを入れないようにしている。行事が被らないため、秋休み期間中の開催は良いと思う。

=====
会長) トルコランプ作りとは何か。

事務局) ステンドグラスを使って作るものである。

事務局) 合志市の黒石に体験をできる場所がある。

=====
実行委員) 植物観察や自然観察を活動に取り入れてはどうか。牧野富太郎氏が有名である。他にも、熊本市博物館に植物専門の学芸員がいるため、そのような方を講師に呼んで自然観察会をしても良いのではないか。子どもたちの生きる力を引き出すことができるのではないか。

実行委員) 通学宿泊体験の野外活動等で飯高山の自然観察を間取り入れても面白いのではないか。

=====
会長) 公民館講座などでの三つの木の家を活用しても面白いのではないか。活用状況はどうなっているのか。

事務局) 着物着付け教室や座禅教室などで活用している。

4. 閉会	<p>実行委員) 三つの木の家を部落解放勉強会の子ども会の研修に使いたいと思う。</p> <p>事務局) 現在、宿泊は再開しているが、布団は各自で持ち込みになっている。</p> <p>実行委員) 青少年リーダーは何人いるか。</p> <p>事務局) 先日の通学宿泊体験研修の時点では、9人である。</p> <p>実行委員) 募集対象はどうなっているのか。</p> <p>事務局) 高校生以上の一般の方を募集対象にしている。</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・委員の方々に三つの木の家の自主事業を見に来ていただくよう、会長と事務局から案内（通知など案内を出す旨お伝えした）。
-------	---